



みんなの声から生まれた 総合計画の6つの基本目標

子育て世代の助成に力を入れてほしい
高齢者、障がい者が安心して外出できる環境整備をしてほしい
必要な医療を受けることができるようにしてほしい

01 健康・福祉
支え合い、誰もが健やかで安心して暮らせるまち

車に乗れなくなると移動に困る
土岐市の文化財をもっと活用してほしい
高齢者でも働ける場所が増えてほしい

02 産業・観光・文化
活気に満ち文化を育み豊かさを創造するまち

地域の人やいろんな大人と話す機会を増やし、柔軟な考え方ができる大人に育ってほしい
若い人と高齢者が互いに理解し助け合える町

03 学習・スポーツ・市民活動
学びや協働を通して人や地域を育むまち

近くで買い物ができない
人口減少の中、駅周辺を中心に開発するのも良いですね
いつでも安全な水を使えるようにしてほしい

04 都市基盤
暮らしの基盤が整い快適で住みやすいまち

自然豊かな土岐市であってほしい
リサイクルを推進してほしい
災害が起きると意識を持つ必要がある

05 環境・安全
環境と調和した持続可能で安全安心に暮らせるまち

行政の取り組みを分かりやすく伝えてほしい
健全な行政運営をしてほしい
デジタル化を進めて便利なまちになるといいな

06 行財政運営・情報発信
未来へつなげる都市経営を行うまち

(市民ワークショップ・市民アンケートより)

総合計画の詳細は、市ホームページをご覧ください。



HP1011141

次ページでは、総合計画を実現するための令和8年度予算をお知らせします。

人を育み 伝統を紡ぎ いきいき暮らせる陶のまち

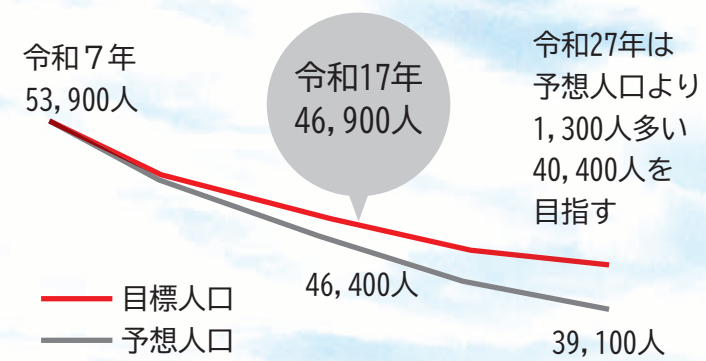
令和8年度～令和17年度 第七次土岐市総合計画

10年後の土岐市をどんなまちにしたいか。その夢と具体的な道筋を描いた市政運営の最も基本となる「総合計画」が、市民の皆さんの声や専門的な視点を交えた「総合計画審議会」の議論を経て完成しました。まちの将来像「人を育み 伝統を紡ぎ いきいき暮らせる陶(とう)のまち」に向けて動き出します。

図 政策推進課 (内線513)

10年後の土岐市 目標とする4つの指標

1 総人口 令和17年 **46,900人** (推計人口46,400人)



人口減少を抑えること
土岐市独自の推計では、市の予想人口は令和27年には4万人を下回る見込みです。働き手となる世代(生産年齢人口)の減少は深刻で、このままでは、産業の人手不足や市民サービスを支える税収が減る可能性があります。人口減少を抑え、活力あるまちを維持することが土岐市の重要な課題です。

2 市民幸福度指数

令和17年 **7点**
(令和6年 6.7点)

10点満点で表した「幸せ」の点数

土岐市に住み続けたいと思う人の割合

3 定住指数
令和17年 **65%**
(令和6年 51.6%)

4 市政満足度指数

令和17年 **50%**
(令和6年 30.0%)

市政に対し、満足と思っている人の割合

※ 2～4の指数は、ウエルビーイング調査や市民意識調査の値

基本目標4

暮らしの基盤が整い快適で住みやすいまち

- NEW** 駅周辺まちづくり事業 660万円
駅周辺地域のにぎわい創出に向けて、まちなか居住を進めるための取組を検討します。
- NEW** まちなか空き家解体・居住促進補助金 250万円
定住人口の増加を図るため、駅周辺地区の空き家を、住宅用地として事業者に譲渡する場合に、解体にかかる費用の2分の1を補助します。
- コンパクトシティ形成支援事業 575万円
人口減少社会に対応するため、居住や都市機能を集約したコンパクトシティ形成に向けた立地適正化計画を策定します。
- 水道施設耐震化事業 2億9,335万円
水道水を安定して供給するため、水道施設の耐震化を進めます。
- 下水道施設耐震化事業 1億4,418万円
大地震などの災害時にも機能するよう、下水道施設の耐震化を進めます。

基本目標5

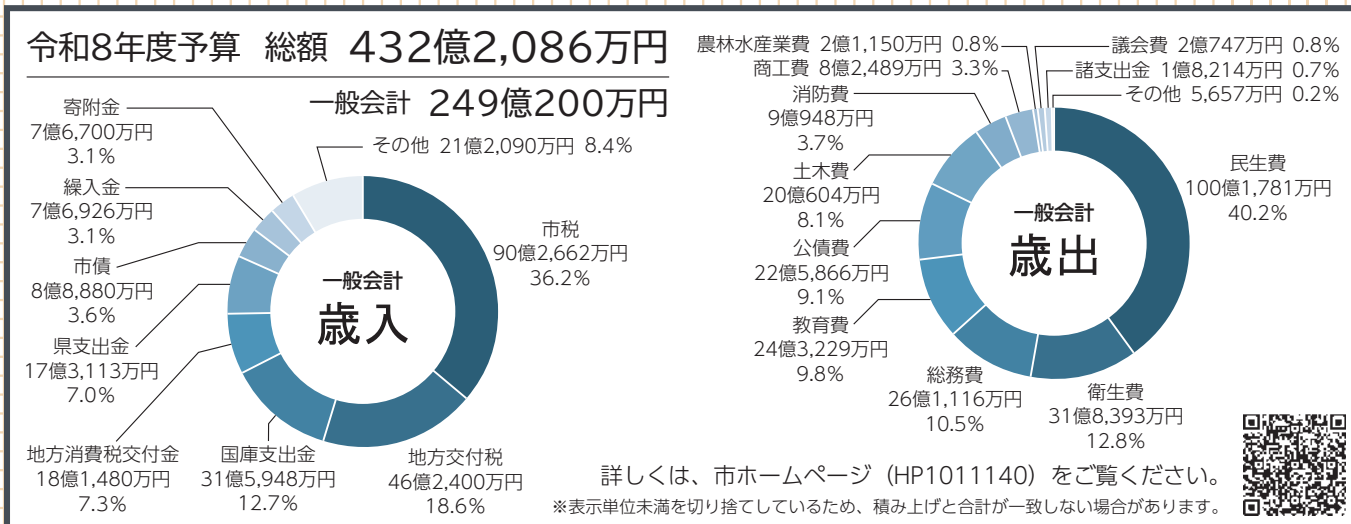
環境と調和した持続可能で安全安心に暮らせるまち

- 地域防災力の向上 735万円
災害時に地元住民が中心となって防災活動ができるよう、防災リーダーの育成や、防災資機材を整備するための補助を行います。
- NEW** 防災アプリ・河川カメラの運用 214万円
防災情報などの緊急情報がプッシュ通知で届くスマートフォンアプリの運用を始めます。河川の状況も確認できます。
- ごみ処理施設広域化の検討 820万円
ごみ処理を安定して維持するため、東濃西部の土岐市、多治見市、瑞浪市では、施設の老朽化や人口減少による課題などを踏まえ、ごみ焼却施設の広域化を検討しています。

基本目標6

未来へつながる都市経営を行うまち

- 公共施設劣化度調査 1,373万円
公共施設の方向性や修繕計画を適正に判断するため、専門家の視点で市内公共施設を統一的に評価します。



第七次土岐市総合計画のスタート

令和8年度予算

全ての人が安心して過ごすことができるよう、「安定した暮らしづくり」と、「未来へ向けた新たなまちづくり」を目指し、予算を編成しました。

行政経営課 (内線532)

基本目標1

支え合い、誰もが健やかで安心して暮らせるまち

- 病児・病後児保育事業 1,231万円
生後8カ月から小学6年生までの、病気または病気回復期で集団保育ができない子どもを一時的に預かります。
- NEW** 乳児等通園支援事業 2,952万円
生後6カ月から満3歳未満の子どもを、保護者の就労の有無にかかわらず、月一定時間まで保育所などで預かります。
- 重点 人口減少対策事業 3,888万円
人口減少対策として、ライフイベントに合わせて切れ目なく総合的な支援を行います。(同窓会開催補助金、一般不妊治療費助成事業、小・中学校入学準備応援金 など)
- 重点 学校給食費助成 1億9,262万円
NEW 小学生の給食費を助成し、徴収を行いません。小学生以外の給食費の物価上昇分を助成します。
- 重点 全世代健康寿命延伸事業ときげんきプロジェクト 1億7,856万円
全ての世代が健やかな生活習慣を形成し、いつまでも健康で生きがいを持って暮らせるまちを目指します。
- 重点 地域医療体制の確保 12億4,122万円
誰もが必要ときに安心して質の高い医療サービスが受けられるよう、地域医療体制の充実を図ります。



基本目標2

活気に満ち文化を育み豊かさを創造するまち

- 重点 文化財保存活用拠点(仮称)整備事業 9億427万円(繰越分)
令和11年度の開館を目指し、「美濃焼」「土岐市の歴史・文化」をテーマとした新しい博物館を整備します。
- 地域公共交通対策事業 8,480万円
自動運転バスの実証実験を行うとともに、市民バス、のってこの運行など、移動ニーズに対応した公共交通の再編を行います。
- 重点 AIデマンド交通実証実験 3,721万円(繰越分)
泉北・駅周辺エリアに加えて東濃中部医療センターを結んで、AIシステムを活用した、AIデマンド交通の実証実験を行います。



基本目標3

学びや協働を通して人や地域を育むまち

- 重点 読書に親しむまち土岐市読書活動推進事業 3,822万円
イベントや講座、移動図書館などで、読書に親しむ環境づくりを行うとともに、学校に司書支援員を配置し、子どもたちの読書への興味を高めます。
- 教育支援事業 8,061万円
悩みや困り感を抱える子どもたちを支援するため、学校に相談員や支援員を配置し、教育支援センター「IKOT・いこっと」で多様化する子どもたちの悩みに寄り添います。
- 重点 部活動地域展開事業 703万円
中学校部活動の地域展開を進め、子どもたちが興味ある活動に取り組めるよう、地域のスポーツや文化芸術活動の環境づくりを推進します。

